

戸田市教育委員会会議録		
招集期日	令和5年11月16日(木)	
場所	戸田市役所 教育委員室	
開会	11月16日 午前 9時30分	
閉会	11月16日 午前 10時55分	
教育長	戸ヶ崎 勤	
教育長・ 委員 出席 状況	戸ヶ崎 勤	出席
	仙波 憲一	出席
	木村 雅文	欠席
	長道 修	出席
	浜田 美咲	出席
説明員 (出席者)	川和田教育部長、梶山参事、	
	金澤教育総務課長、河西学務課長、杉森教育政策室担当課長	
	鎌田生涯学習課長、高屋生涯学習課課長	
書記	教育総務課総務担当 今泉主幹、我妻副主幹	
傍聴人	2名	

会議の経過及び結果

教育長

今年のノーベル生理学・医学賞の受賞者に新型コロナウイルスの mRNA ワクチンの開発者で、ハンガリー出身アメリカの研究者であるカタリン・カリコ氏ら 2 人が選ばれました。彼女の波瀾万丈の自伝がいまベストセラーになっています。

彼女が研究を始めた 1980 年代、ハンガリーは深刻な不況に陥り、研究の運営も困難を極めました。研究成果が出ず研究費も打ち切られました。30 歳の誕生日を迎えると研究所を辞めざるを得なくなりました。当時のハンガリーはソ連影響下にあり、出国許可は下りても外貨の持ち出しは 100 ドル（約 2 万円）までしか認められませんでした。渡米しても生活できないため、自動車をヤミ市場で売ったり、多くの人に助けを請うなどしたりして、ようやく外貨をかき集めました。渡米の際、当局に見つからないよう娘のテディベアの中に隠しました。

1995 年には大学から、成果を出せていないことなどから降格を言い渡され、おまけに自分の癌まで見つかри、途方に暮れ消えてしまいたいと思ったこともあったそうです。家族からも「マクドナルドで働いたほうがずっと時給が高いぞ」などと言われていました。

彼女は次のような科学者たちを鼓舞する言葉を述べています。「自分ができることに集中すること。他人がしていることや他人がすべきことを気にして時間の無駄遣いをしないこと。他人を変えることはできないのだから。友人や同僚がどんどん昇進していくのを見て、諦めたり自分を哀れに思ったりしている時間はありません。次に自分に何ができるのかを探すのにエネルギーや時間を費やすべきです。」と

まさに、レジリエンスが高い典型的な方なのだろうと思います。過去のこの定例会のあいさつでもレジリエンスの話をしました。それが高い人に共通する 3 つの特徴があると言います。回復力、緩衝力、適応力です。おそらく多くのノーベル賞を受賞している研究者は、この 3 つを兼ね揃えているのではないかと思います。回復力は失敗して

	<p>も考えを切り替えて立ち直ることができる力、緩衝力は、困難な状況でも大きなストレスを受けない力、そして、適応力は、困難や逆境に直面したときに、しなやかに切り抜ける柔軟な問題解決力です。</p> <p>近年よく「学校はオワコンか？」と言われることがあります。その中で、「勉強は忍耐強く我慢することを学ぶ修行で、大事なものは修行を切り抜ける要領だ、という発想を乗り越えるべき」などとの指摘があります。一方で、「最近の子供は忍耐力が弱くすぐに諦める、がまんができない」と指摘され久しいようにも思います。</p> <p>「小児を育つるには、三分の飢えと寒さとを存すべし」とは、江戸時代の儒学者、貝原益軒の言葉です。また、スペインの偉大な哲学者オルテガも、「豊かな社会は、豊かさの中で甘やかされた、とんでもない相続人の群れを大量に生み出しつつある」と警鐘しています。学校オワコン論は白黒二元論の典型です。</p> <p>心理学に「あいまいさに対する耐性」という言葉があります。何事も白黒はっきりさせる性格というのは、一見強い性格のように思われがちですが、実は両極端に走るほうが心理的には楽なのです。グレーゾーンを容認するためには、自分の弱さを認めつつ、曖昧さを容認できる強い自分になるための耐性が必要なのだそうです。</p>
教育長	<p>それでは、ただ今から、令和5年第11回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>了承</p>
教育長	<p>それでは、会議録に御署名をお願いします。</p>
各委員	<p>署名</p>
教育長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、個人情報、公開することにより事務の公正な執行に支障</p>

	<p>が生じる案件及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>報告事項 令和5年度優秀な教職員の表彰について</p> <p>議案第30号 戸田市立小・中学校通学区域審議会委員の任命について</p>
各委員	異議なし
教育長	それでは「報告事項、議案第30号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教育長	では、校長プレゼンから始めたいと思います。今回は美笹中学校区のプレゼンです。お願いします。
説明員	【各校長よりプレゼン】
事務局	校長先生方ありがとうございました。それでは、このあと質疑応答に移らせていただきます。教育委員の皆様から質問等お願いします。
委員	<p>プレゼンテーションありがとうございました。大変興味深いお話をいただきました。</p> <p>小学校2つと中学校がそれぞれの学校の特色を活かして地域と連携をすることは他の地区でも行っていることですが、特に今日お話をお聞きして、プレゼンテーションの中でこの次の、学校間というマクロ的な視点から、個別の一人一人というミクロ的な視点へ落としていくことを意識的に行っていることがいいと思いました。子供たち一人一人に対して落としていくプロセスが上手いと思います。とかく、学校間で連携すると、個別の子供たちに落としていくプロセスが非常に難しく、出来辛いのですが、ここはそういう意味において上手く行っているので、素晴らしいと思いました。</p> <p>そこで、それを継続していくためには、例えばカルテのようなものを作成して、子供一人一人の見守りを先生方で受け継いでいくなどの</p>

	<p>工夫は何かありますか。要するに、全体から個に対して落としていくプロセスで何か工夫をなさっていることがあれば、お聞きしたいです。</p> <p>いずれにせよ、その視点を教えていただいた、見せていただいたので、とても良かったと思います。ありがとうございました。以上です。</p>
校 長	<p>教育データをこれから活用していくという取組を戸田市教育委員会で実施していますが、美笹中学校も今年度中に生活記録ノートなどの子供たちとやり取りしているものを、戸田市教育委員会と連携してデータ化していく取組を試行していくことになっていますので、今後一人一人のカルテということに繋がられるのではないかと思います。</p>
校 長	<p>今の話と同じようになりませんが、戸田市の方で、データの一元化を進めてくださっているので、学力はもちろん、WEBQUの結果なども反映していきます。それにプラスして、校長同士、担任同士も連携をしていき、個々に寄りそった、特に支援を要する子供たちについての連携・連結をしています。</p>
事 務 局	<p>他に、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>特に歴史と伝統というとおりで、3校の校長先生方が長い伝統の中で、今現在を迎えられて、努力されている様子がよく分かりました。家庭環境が厳しい状況の子供もいるかと思えます。特に戸田型オルタナティブ教育を推進していることから、ぱれっとルームでの取組の成果や、西すてっぷができたことで、また繋がりがあられるかもしれません。また、先ほど出た、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員など、ぱれっとルームとの関係が出てきている話もあり、情報交換も非常に大事にされていると思いました。</p> <p>先ほどおっしゃった、小学校は小学校、中学校は中学校でやっていると、小学校の中身は分からないし、中学校の中身も分からないというのは、そのとおりだと思います。私も両方経験して、初めてそういう違いがあって、それぞれ難しい面が多いということがわかりまし</p>

	<p>た。先生方が連携を意識し始めているところが大事であって、お互いが文句を言っても仕方ないと思います。小学校でやってきたものを、中学校でどう活かすかという点が見えたので、今後に期待したい部分だと思えます。</p> <p>また、危機管理の面で、第1回合同安全主任会が開催され、今度、第2回を開催されるということですが、このような回数や参加者、協議内容などは細かく決めていかないと、話し合っても実践していく上で非常に難しい点がたくさんあると思えます。</p> <p>ぱれっとルーム関係と、合同安全主任会の中身などを教えていただきたいです。</p>
校長	<p>ぱれっとルームですが、笹目小学校が市内の小学校よりは半年早く立ち上がって、年度当初からありました。やはりぱれっとルームができたことによって、全く来られなかった子が、家庭から出られるようになったのは非常に大きいと思えます。今後は、西すてっぷもできましたので、更に連携を図りながら、そして中学校についても不登校になってしまわないようにうまく繋がっていければと考えています。</p>
校長	<p>ぱれっとルームは、本校も止まり木のように、少し授業に入れない子が使う、あるいは継続的に使いたいお子さんについては親御さんとも面談をさせていただいて、入っていくという形もとっています。常時使う子は今のところおりません。その中でほとんど欠席のお子さんで、ぱれっとルームも経験したけれど、やはりまた違う学びの場が必要という子に、西すてっぷを紹介したところ、親御さんも納得し、通っているという事例があります。西すてっぷの在り方が、非常にありがたいと思えます。</p>
校長	<p>西すてっぷが設置されたことで、本校からも毎日そちらの方に通うことができるようになったところが大きいと思えました。これまでは、教育センターまで通うことがかなり大きなハードルになっていましたので、学区の中、特に美笹中学校のすぐそばに西すてっぷが設置</p>

	<p>されたことで、学校へ通うまでの前段階として西すてっぷに通える生徒が今後少し出てくるといいと思っています。</p> <p>もう1点御質問がありました危機管理についてですが、今年度どのような取組が3校でできるか考えたところで、主任会を開催しました。実際開催してみると、やはり計画的に目指すところをもって今後も継続的に進めていく必要があります。来年度については、アドバイスいただきましたように、参加者や回数を年度初めに計画していきたいと思います。それにより、本当の意味で安心安全の学校作りを地域とともに進めていけるのではないかと考えています。以上です。</p>
事務局	他にございますか。
委員	<p>まず立地的に彩湖・道満グリーンパークが近くにあることが本当にうらやましいと思いました。学校教育として彩湖・道満グリーンパークを活用できるのは本当に素晴らしいことだと思いますので、ぜひ進めて頂きたいです。</p> <p>また、生徒同士や先生同士の小学校と中学校の交流に力を入れていることがとてもよくわかりました。中学校区としてひとつにまとまっていて、小学校から中学校に上がる時に、自然に、あまり心の壁なく上がっていけると感じました。</p> <p>その連携の中で、美笹中学校区・小学校バスケットボール大会を開催していらっしゃるということで、スポーツは一緒に行うことで心を通わせるのに本当に最適な方法だと思いますので、本当にいいことだと思いました。一方で、小学校でバスケットボールは少し難しいのではないかと感じましたが、バスケットボールにした経緯や意図があればお聞かせいただきたいです。</p>
校長	<p>小学校5年生のバスケットボール大会ですが、以前より継続して開催しているものです。5年生はバスケットボールが体育の授業の中にも入っていますので、中学校のような動きにはなりません、小学生なりのバスケットボールの楽しさなどが味わえると思います。また、</p>

	他の小学校の子供と一緒に、交わって行うので、集う楽しさも味わえるという風に考えています。以上です。
事務局	最後に教育長からお願いいたします。
教育長	発表ありがとうございました。他の学校にも参考になることが多々あったと思います。小中一貫の教育ということで、私の方からも繰り返し申し上げていることですが、特に、これまでの生徒指導に加えて、教育課程の接続が非常に重要だと思います。大事なことは、小学校で学んだことが深化充実して、中学校に接続していくことです。13ページの資料の中に成果と課題が書かれていますが、具体的に、教育課程という視点から考えた時、成果としてあがったと言えるようなものはありますか。
校長	小学校で学んできたところが完璧にできているわけではないので、中学校に入っても繰り返し学び直す機会を、恐らく戸田市内の他の学校区よりも美笹中学校では重視して取り組んでいると思います。そのような意味でも、中学校3年間で、小学校で学んできた発表の力は、まだまだ十分ではありませんが進めていくことと、読解力についても3年間を通して育てているところです。
教育長	小学校の方はどうですか。
校長	どこの小学校もプレゼン力の向上に力を入れているのではないかと思います。数値の上での学力の向上はもちろん、例えばプレゼン大会の小学校の様子を中学校の方から見ていただくという連携も、今、言われてみてできるのではないかと考えました。今後も努力してまいります。
校長	教育課程でいうと、発表の中にもありましたが、小中学校の先生方と教員レベルで交流を図っていくということで、例えば、校内授業研究会をどこの学校も行えるよう案内し、小学校で行う場合は、中学校の先生を招いて一緒に協議をするところは、進んでいるのではないかと思います。そのようなことで、小学校と中学校のシームレスな学び

	<p>や目指しているものを一緒にしていくことが図られていると感じています。以上です。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>やはりシームレスな学びを進めていくことが非常に重要だと思います。そのような意味では、小学校・中学校のそれぞれの先生方が、教科書をお互いに見て、研究していくという地道な取組は、その気になればできることかと思いますので、ぜひ研修の中でも取り入れていただければと思いました。</p> <p>最後に、先ほどもお話が出ていましたが、11 ページの合同安全主任会は、次回は1月に開催されますが、美笹中学校で事件が発生したことで、世間の関心も高い部分もあります。この取組は他の学校でも参考になる取組ですので、ぜひ周知していただきたいと思います。せっかくであれば地域にも入っていただき、学校だけでなく学校運営協議会にも声をかけることで、保護者にも理解協力していただく方がいいと思います。そこもぜひ3人の校長先生方で検討していただけるとありがたいです。本日はありがとうございました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>続きまして、「教育委員提案」について御報告いたします。</p> <p>長道委員から御提案のありました「教育委員提案 図書館事業の充実について～学校との連携～」を事務局より説明願います。</p>
<p>説 明 員</p>	<p>長道委員からの教育委員提案 図書館事業の充実について、昨年8月の教育委員提案「市立図書館の電子化に伴う学校図書館との連携について」と一部重複する箇所もありますが、資料に基づき、御説明します。</p> <p>2ページになります。概要について、記載の順に説明します。</p> <p>3ページになります。40周年としょかん感謝祭の開催について、開催日ごとに報告します。</p> <p>4ページになります。3日の主なイベントは、オープニングセレモ</p>

ニーとして、1階ロビーで、とだ市民吹奏楽団によるアンサンブルコンサートを行いました。用意した35席では足りず、立見の方もいました。また、児童作家の「あんびるやすこ」先生の、トークショーとサイン会を開催しました。応募者多数に伴い、抽選で選ばれた方々が参加されました。また、教育長、市長、議長も参加されました。

5ページになります。4日は、バリアフリーサービスをテーマとして、マルチメディアデイジー体験会を開催しました。マルチメディアデイジーとは、文字や音声、画像を同時に再生できるデジタル録音図書のことです。視覚障害者や加齢で文字が見えにくい方など、活字による読書が困難な方でも読書を楽しむことができます。次に、バリアフリー映画会になります。視覚や聴覚に障害のある方が、御家族や御友人と一緒に鑑賞できる映画を上映しました。それぞれ多くの方に御参加頂き、バリアフリーサービスの周知を図りました

6ページになります。5日は、併設している郷土博物館の常設展示室にある「古民家」を活用し、ボランティアの方による、昔話などを中心としたおはなし会を開催しました。狭い古民家に収まらず、多くの方に御参加いただきました。

7ページになります。3日間共通のイベントとしては、文字探しラリー、塗り絵など実施しました。当日の様様につきましては、戸田市立図書館のホームページに公開しております。

8ページになります。電子図書館の拡充について、でございます。

昨年8月に、小中学校の保護者宛配信メールでチラシを配布し、パソコンのWebブラウザのブックマーク(お気に入り)に追加したところ、貸出冊数が急増しました。また昨年、浜田委員から御意見を頂いた、児童書の充実については、10月からは児童書の読み放題パックを導入し、好評を頂いているところでございます。

9ページになります。デジタルアーカイブでは、文書や文化資源などを電子データ化し、それをデータベースとして提供しています。郷

土博物館が作成した「戸田市史ある記マップ」を元に、文化財をめぐるコースの歴史散歩道について、文化財の写真や解説が見られます。

また、ADEAC（アデアック）と呼ばれる民間のデジタルアーカイブシステムを利用しております。ADEAC を通じて、国立国会図書館が運営する、「ジャパンサーチ」と呼ばれる国内のデジタル化資料を集めたデータベースに登録されます。ジャパンサーチでは、キーワード検索で全国各地のデジタル化資料を横断的に探し出し、閲覧することができますので、これに参加することにより、市外の方が検索結果から戸田市のページにたどり着き、戸田の文化財を知っていただく機会が増えることが期待されます。

10 ページになります。実際の画面をイメージした資料になります。文化財の写真やその説明を見ることができます。

11 ページになります。「調べかたガイド」については、荒川の植物や虫、郷土料理など、図書館のカウンターで小中学生から質問を受けることが多いテーマで作成しており、郷土について学ぶ授業や自由研究などに役立つ内容となっております。「調べかたガイド」にあるような郷土資料や辞典類は学校図書室でも揃っているところは多くはありません。こちらのガイドを活用していただければ、図書館にある本を御案内できます。

12 ページになります。図書館システム更新については、来年3月から新システムが稼働します。新機能は4つございます。

1 点目 マイナンバーカードの利用

マイナンバーカードが図書館貸出券として使えることに加え、マイナンバーカードの更新情報を活用し、貸出券の有効期間を自動更新するものになります。この機能につきましては、昨年、デジタル庁において、市民カード化構想の実現に係るモデル事業 10 自治体の一つに選ばれたところです。

2点目 オンライン申請

来館しなくても、新規登録や住所変更等について、オンライン申請が可能になります。また利用者アンケートから要望が多かった、図書館に無い本のリクエストについて、オンライン申請を可能にするものです。

3点目 貸出券をスマホで表示

スマホがあれば貸出券を持ち歩かなくても利用できます。

4点目 読書記録機能

本人同意の下、貸出履歴を保存し、年間読書冊数や感想のメモ機能など活用して、読書を推進する仕組みになります。

このように、ICTを活用して、更なる利便性の向上を図ります。

13ページになります。学校との連携についてです。団体貸出については、図書館から小中学校へ授業で使う本などの貸出冊数をお示ししました。学習成果発表の場の提供として、学校からの依頼などでPBLの成果発表などの場所を、随時提供しています。表現の場の提供として、埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校とのコラボレーション展示として、クリスマスとバレンタインの展示を行ったところ。写真撮られる方も多く、好評を頂いたところ。

14ページになります。戸田市まちづくり出前講座の実績をお示ししています。昨年度は、「不登校支援教室」いっぱい御利用もありました。

15ページになります。戸田市図書館を使った調べる学習コンクールについては、昨年度、第1回を開催しました。優秀作品については全国コンクールに出品や、レプリカを展示しました。コンクールの実施を通じて子供たちの図書館利用を促進してまいります。

16ページになります。バリアフリーサービスについてです。令和元

	<p>年 6 月に施行された、いわゆる、「読書バリアフリー法」に基づき、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるための環境整備や各種サービスを実施しています。バリアフリーコーナーについては、昨年リニューアルしました。先程報告した、マルチメディアデジターについては、12 月から貸出しを開始する準備をしております。布絵本とは、さわって楽しむ本です。さまざまな障害のある方も一緒に読書を楽しむことができます。</p> <p>17 ページになります。居場所機能の充実については、毎週金曜日、障害者福祉サービス事業所による軽食販売について、すっかり定着化し、常連の方の御利用も見受けられます。また不定期ですが、戸田かけはし高校の生徒によるパンの販売はすぐに完売になるほどの人気です。キッチンカーについても、不定期に開催しているところです。</p> <p>18 ページになります。館内外の整備について、館内については、Wi-Fi 環境の充実、児童書の原画展の開催、館外については、埼玉県福祉のまちづくり条例改正を踏まえ、埼玉県思いやり駐車場を設置しました。</p> <p>19 ページになります。最後になりますが、中央図書館は今年で 40 年を迎えることができました。第 2 次戸田市図書館ビジョンで掲げた、「すべての市民の学びを支援し、情報拠点となる図書館」を目指す姿として、様々な方の御意見を伺いながら、施策に取り組んでまいります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>大変細かい説明ありがとうございました。</p> <p>まず、40 周年としょかん感謝祭は、本当にすばらしい取組や内容がかなり多く、3 日間の中身に感心しました。</p> <p>次に、10 月から児童書の読み放題パックを追加するという一方で、講談社の朝読おすすりめ 50 点パックなどの記載がありましたが、この</p>

	<p>ような便利なものが入れば借りる人も増え、効果があると思います。</p> <p>また、私自身があまり使っていなかったのに、デジタルアーカイブでジャパンサーチやパスファインダーを使ってみました。かなり良かったです。これほど細かく見られることを、この間見て初めて知りました。本当にこれは利用しないともったいないですし、細かく調べるにはいいと思います。</p> <p>次に、図書館のシステムの更新が来年の3月1日からということで、市民から期待しているという手紙もきて、返事を書かれていたと思うのですが、やはり読書記録機能がついているので、小中学生を表彰してあげたらどうだろうと思いました。他の市では、読書通帳などがあり、よく読んでいる子を表彰している市もあるようです。もし、そのようなものができるのであれば、それも励みの一つになるのかもしれないので、少し考えてみてもいいのではないかと思います。</p> <p>次に、学校との連携で、本の貸出しにしても、学習の成果の発表の場の提供にしても、表現の場の提供にしても、本当によく学校のことを考えていただいていると思いました。特に出前講座の時、ブックトークを含めて、小さい頃から本に接していかないと、読書をしない子供が中学校高校になって増えていってしまう可能性があります。ブックトークは効果が高いと思いますので、これも続けていただけたらと思います。</p> <p>次に、図書館を使った調べる学習コンクール、これは表彰もされているということですが、これも本当によく頑張っていると思います。</p> <p>最後に、とても図書館を利用しやすい環境にいただいている部分がかかなり見えていて、頑張っている姿がたくさんあったので良かったです。</p>
事務局	一点だけ補足いたします。

	<p>読書手帳についてですが、現在も、紙で子供読書手帳というものがあり、読書の推進をしております。今回はそれに加えましてシステム上でということでした。御意見ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>他にはいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>充実したたくさんのものをありがとうございました。</p> <p>話したいことが多くありますが、もっとたくさんの人に知っていただいたら利用が増えるのではないかと率直に思いました。</p> <p>最初に、40周年としょかん感謝祭についてですが、御案内いただきありがとうございました。行くことができたのは5日の最後のほうになってしまったため、あまり子供が来ている印象がありませんでしたが、全体を通してどのくらいの参加者がいたのか伺いたいです。</p> <p>また、電子図書館の拡充については、ここで改めて知ることができたので子供にも見せていきたいと思いました。</p> <p>次に、新システムが導入されるということで、オンラインで申請できたり、貸出券をもっていなくてもスマホでできたりなど、すごく便利なシステムが開始されることがわかりました。これも是非広報して、皆様に知っていただけたらと思います。</p> <p>次に、調べる学習コンクールについてですが、うちも今年初めて学校でチラシを貰ってきたので、子供と図書館に行って応募させていただきました。初めての応募でしたので、とにかく「やったということだけでも十分だね」と話をしていましたが、優秀賞をいただいたと子供から聞きまして、すごく驚いています。ありがとうございます。</p> <p>本当に励みになるので、ぜひ今後も続けていただきたいです。</p> <p>以上です。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございました。</p>

	<p>イベント参加者数は、概算ですが、3日間で約1,300人程度が参加されたと報告がきています。</p> <p>また、図書館システムに関しましては、アンケートから頂戴していた課題もありましたので、積極的に周知をしていきたいと思っています。御意見ありがとうございました。</p>
教育長	ありがとうございました。
委員	<p>皆さんのお話し等々出ているように、図書館が確実に変わってきているという印象を受けました。</p> <p>図書館とは、戸田市であれば戸田市の知の拠点になっているものだと思います。御承知のとおり、昔の図書館は学習図書館や研究図書館という印象でした。今回の話を聞いていると、適切な言い方かは分かりませんが、娯楽図書館といえますか、生涯学習でも利用できるという意味での堅苦しくなく、知の拠点とは言えど堅苦しくなく、楽しい図書館が望まれているようにとても感じました。</p> <p>今後図書館をどのような方向で発展させていくビジョンをお持ちなのかお聞かせ願います。</p>
事務局	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>第2次戸田市図書館ビジョンに掲げた、「すべての市民の学びを支援し、情報拠点となる図書館」という姿を目指しております。</p> <p>人生100年時代ということで、それぞれのライフサイクル、ライフステージがございますので、それに寄り添った学習のサポートをしていく図書館を目指していきたいと考えています。</p>
教育長	<p>私からは、皆さんから出ているように、折角これだけのたくさんの方の事を行われていて、全国の自治体の中でも先導的だと思いますので、いかに市民にこれを知ってもらうかです。子供から高齢者までみんなが活用する様な、利用の頻度が上がるような形にしてもらうとい</p>

	<p>いと思います。</p> <p>次に、8ページの電子図書館システムについてです。現在、全国各地から視察が来ていますが、そのプレゼンの中でも皆様に宣伝しています。とても反応がよく、「戸田市は素晴らしいですね」という言葉をいただきます。学校での活動も含め、改めて、繰り返しの周知を行っていただきたいです。</p> <p>次に、先ほど委員からあった読書記録の表彰については、例えば教育長賞など作ってもいいと思います。是非学校とも連携しながら、表彰を前提に取り組んでいけたらと思います。検討の方をよろしく願います。</p> <p>それでは以上を持ちまして教育委員提案を終了いたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして3件の報告がございます。</p> <p>令和5年度優秀な教職員の表彰について【秘密会】</p> <p>市民大学講座「市民企画講座」の実施について</p> <p>その他</p> <p>資料 No.2 に基づいて、秘密会以外の詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、全ての報告が終了したのちに伺います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>報告事項 市民大学講座「市民企画講座」の実施について報告させていただきます。</p> <p>市民企画講座は、市民から講座の企画を募集し、事務局の選考を経て決定した講座を市民大学講座として実施する取組です。</p> <p>今年度は、15件の企画が提案され、「市民大学の趣旨に沿った内容であるか」「地域性を反映しているか」等の評価項目で選考を行い、2つの企画を採用しました。</p> <p>1つ目は、「アラフォー以上なら知っておこう 親の介護と終活と</p>

	<p>看取り」をテーマに開催します。講師は、企画者である社会福祉士の中村 真由美（なかむら まゆみ）様です。親の介護が必要になったときにどうすればいいのか、家族の介護や終活など、もしもの備えを考えるために役立つ知識について、御自身の実体験をもとにお伝えする内容です。</p> <p>12月9日（土）午前10時から、教育センターで開催します。</p> <p>2つ目は、「外国人と話す際に使える やさしい日本語について学んでみよう」をテーマに開催します。講師は、企画者である日本語講師の千原もも子（ちはら ももこ）様です。「やさしい日本語」は、普段何気なく使われている日本語を外国人でも分かりやすく配慮した表現方法の一つです。</p> <p>本講座では外国人の方とやさしい日本語で会話ができるよう、その表現方法について、現役日本語講師から学べる講座です。</p> <p>1月27日（土）午前10時から、市役所大会議室で開催します。</p>
教育長	次に その他ですが、事務局より何かございますか。
事務局	特になし
教育長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
各委員	特になし
教育長	それでは次に、議案第31号 戸田市芦原小学校生涯学習施設運営要綱の一部改正について、事務局より説明願います。
事務局	<p>議案第31号 戸田市立芦原小学校生涯学習施設運営要綱の一部改正につきまして、御説明いたします。</p> <p>2ページを御覧ください。本件につきましては、令和5年12月1日に実施される戸田市公共施設予約システムの更改(こうかい)に合わせて当該施設の運用を見直すことに伴い、運営要綱の一部改正を行</p>

	<p>うものです。</p> <p>主な改正内容は2点ございます。</p> <p>1点目としましては、第3条において、施設の利用時間を午前9時から午後9時30分までを、現在の学校施設開放事業や特別教室の貸出時間と統一することとし、午前9時から午後9時までに変更いたします。</p> <p>2点目としましては、当該施設における公共施設予約システムの利用範囲を「貸室の空き状況の確認」とする運用に合わせるための条文の改正を行います。</p> <p>その他、施設予約システムの更改に伴い施設運営管理手続を見直し、様式等の字句の軽微な修正をおこなっております。</p>
教育長	<p>以上で、説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
各委員	<p>特になし</p>
教育長	<p>御意見がないようですので、議案第31号は提案内容のとおり議決することとして御異議ございませんか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
教育長	<p>異議なしと認め、議案第31号は議決いたします。</p>
教育長	<p>それでは次に、次第7その他の「次回の教育委員会の日程(案)」について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>次回、教育委員会定例会の日程ですが、12月14日(木)午後4時からの開催について、お伺いいたします。</p>
教育長	<p>次回の教育委員会定例会の日程は、事務局(案)のとおりでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>了承</p>

教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次にその他ですが、事務局から何かございますか。
事 務 局	特になし
教 育 長	それでは「報告事項 及び議案第 30 号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に係る職員以外は退席願います。
	【報告事項 及び議案第 30 号を議決して閉会】

	以上のとおり会議の経過及び結果を記し、相違ないことを証するため署名する。
	令和5年12月14日
	教 育 長
	教育長職務代理者
	委 員
	委 員
	委 員
	書 記